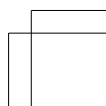
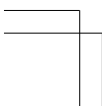
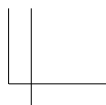


リスト記法変換テスト

2025-09-05 版 発行



第 1 章

ミニブロック機能のテスト

1.1 各種ミニブロックの確認

Info (情報)

■ INFORMATION: システム要件

本システムの動作要件は以下の通りです：

- OS: Ubuntu 22.04 LTS または macOS 12 以上
- メモリ: 8GB 以上（推奨 16GB）
- ストレージ: 20GB 以上の空き容量
- Node.js: バージョン 18 以上

Warning (警告)

■ WARNING: データベース操作に関する注意

本番環境でのデータベース操作は慎重に行ってください。

以下の点に特に注意が必要です：* 必ず事前にバックアップを取得する* トランザクションを適切に使用する* 削除操作は復元不可能

Important (重要)

■ IMPORTANT: 緊急セキュリティアップデート

重大な脆弱性が発見されました。

直ちに以下の対応を実施してください：1. システムを最新バージョンにアップデート 2. パスワードをすべて変更 3. ログを確認して不正アクセスがないか確認

Caution（注意）

■ CAUTION: 権限設定について

管理者権限での操作には十分注意してください。
誤った設定により、システム全体が動作しなくなる可能性があります。
設定変更前には必ず現在の設定をバックアップしてください。

Notice（お知らせ）

■ NOTICE: 定期メンテナンスのお知らせ

以下の日程でメンテナンスを実施します：
日時: 2024 年 4 月 15 日（月） 22:00 - 24:00 影響: サービスが一時的に
利用できません対象: すべてのユーザー

Tip（ヒント）

■ TIP: パフォーマンス改善のコツ

以下の方法でアプリケーションの速度を改善できます：

- キャッシュを有効にする（最大 3 倍の高速化）
- インデックスを適切に設定する
- 不要なログ出力を無効化する
- CDN を活用して静的ファイルを配信する

Memo（メモ）

■ MEMO: 開発者向けメモ

この機能は実験的な実装です。

将来のバージョンで仕様が変更される可能性があります。本番環境での使用は推奨されません。

1.2 複合的な使用例

連続したミニブロック

■ INFORMATION: 前提条件

以下の環境が準備されていることを確認してください：* Docker Desktop インストール済み* Git 設定完了

■ WARNING: 注意事項

初回実行時は、Docker イメージのダウンロードに時間がかかります。
ネットワーク環境によっては 30 分以上かかる場合があります。

■ TIP: トラブルシューティング

エラーが発生した場合は、以下を確認してください：* Docker が起動しているか* ポート 3000 が使用されていないか* ファイアウォールの設定

コードを含むミニブロック

■ WARNING: 非推奨 API の使用

以下のコードは非推奨の API を使用しています：

リスト 1.2: deprecated.js

```
// 非推奨: getDataById は v3.0 で削除予定
const data = api.getDataById(id);

// 推奨: fetchData を使用
const data = await api.fetchData({id: id});
```

v3.0 以降では動作しなくなるため、早めの移行をお勧めします。

■ TIP: リファクタリング例

パフォーマンスを改善するコード例：

リスト 1.2: optimization.py

```
# Before: 非効率な実装
result = []
for item in items:
    if item.is_valid():
        result.append(item.transform())

# After: リスト内包表記を使用
result = [item.transform() for item in items if item.is_valid()]
```

リスト内包表記により、約 30% の高速化が期待できます。

1.3 実践的な使用例

デプロイメントガイド

■ IMPORTANT: 本番環境へのデプロイ

本番環境へのデプロイは、必ず以下の手順に従ってください。手順を誤ると、サービス停止の原因となります。

■ INFORMATION: 事前準備

デプロイ前に以下を確認：* すべてのテストがパス* ステージング環境での動作確認完了* リリースノートの作成

■ CAUTION: データベースマイグレーション

マイグレーションは不可逆的な変更を含む場合があります。必ずバックアップを取得してから実行してください。

リスト 1.2: migration.sh

```
# バックアップの作成
pg_dump production_db > backup_$(date +%Y%m%d).sql

# マイグレーションの実行
rails db:migrate RAILS_ENV=production
```

■ WARNING: ロールバック手順

問題が発生した場合のロールバック：

1. アプリケーションを前のバージョンに戻す
2. データベースをバックアップから復元
3. キャッシュをクリア
4. ログを確認して影響範囲を特定

■ NOTICE: 完了後の確認

デプロイ完了後は、以下を確認してください：* ヘルスチェックの成功* エラーログの監視（最初の 1 時間）* パフォーマンスメトリクスの確認

1.4 まとめ

本章では、Re:VIEW でサポートされている 7 種類のミニブロックをテストしました：

- //info - 情報提供
- //warning - 警告
- //important - 重要事項
- //caution - 注意喚起

- //notice - お知らせ
- //tip - ヒント・コツ
- //memo - メモ・備忘録

これらのミニブロックを適切に使い分けることで、読者にとってより理解しやすい技術文書を作成できます。